

施策体系シート(行政経営Bシート)

作成者	組織	誘客戦略課	職	課長	氏名	中山 隆志
評価者	組織		職		氏名	

	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策1	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大	観光入り込み客数	千人	30,000 (R7)	24,899 (R1)	(R2)	

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題							課題に対する主な取り組み				評価		
施策	課題	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の有効性	今後の方向性	
					(年度)	(年度)							
施策1	課題1 新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大	観光入り込み客数	千人	30,000 (R7)	24,899 (R1)	(R2)	1 ほっと石川観光プラン推進ファンド事業資金貸付金	観光客全般	8,000				
							2 コンベンション誘致推進事業費	観光客全般	50,000				
							3 教育旅行誘致推進事業費	観光客全般	6,000				
	課題2 石川ならではの魅力の発信	3大都市圏からの入り込み客数	千人	13,000 (R7)	8,793 (R1)	(R2)	1 西日本誘客推進事業費	関西・中京圏観光客	21,800				
							2 いしかわ観光コンシェルジュ配置支援事業費	三大都市圏観光客	11,000				
							再掲	ほっと石川観光プラン推進ファンド事業資金貸付金	観光客全般	8,000			
							1 誘客プロモーション事業費	観光客全般	15,000				
課題3 広域連携による県域を越えた周遊観光の促進	観光入り込み客数	千人	30,000 (R7)	24,899 (R1)	(R2)	1 JR連携誘客キャンペーン事業費	観光客全般	11,500					

※人数については暦年の数値である

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 ほとと石川観光プラン推進ファンド事業資金貸付金	事業開始年度 H28	事業終了予定年度	作 組 織 誘客戦略課
	根拠法令・計画等	ほとと石川観光プラン2016	成 職・氏名 専門員 六田 雄介 者 電話番号 076 - 225 - 1537 内線 3943

<事業の背景及び目的>
 平成28年3月に策定した「ほとと石川観光プラン2016」に基づき、(公社)石川県観光連盟がほとと石川観光プラン推進ファンドを活用して実施する北陸新幹線金沢開業効果の持続・発展に向けた国内誘客に向けたプロモーション活動の円滑な実施のため、資金繰りに必要な資金の貸し付けを行う。

- <事業の概要>
- 1 貸付額 8,000千円
 - 2 貸付先 (公社)石川県観光連盟

- 【参考】ほとと石川観光プラン推進ファンドを活用した事業内容
- 国内誘客に向けたプロモーション活動
 - (1)観光物産展「いしかわ百万石物語展」の開催
 - (2)大手企業等での出前型観光物産展の開催
 - (3)石川県観光ブランドプロデューサー活動費 など

施策・課題の状況						
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていたくよう石川ファンを拡大				評価	
課題	新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大					
	指標	観光入り込み客数			単位	千人
	目標値	現状値				
	令和7年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	30,000	24,588	24,753	24,915	24,899	

事業費						
(単位:千円)		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費	予算	51,000	10,000	6,500	8,000	8,000
	決算	51,000	10,000	6,500	8,000	
一般財源	予算	0	0	0	0	0
	決算	0	0	0	0	
事業費累計		51,000	61,000	67,500	75,500	83,500

評価	
項目	評価
	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 コンベンション誘致推進事業費	事業開始年度 H29	事業終了予定年度
	根拠法令 ・計画等 ほっと石川観光プラン2016	

作 組 織 誘客戦略課	評 価
成 職・氏名 主事 越村 日咲	
者 電話番号 076 - 225 - 1537 内線 3943	

<事業の背景及び目的>
県内で開催されるコンベンションに対して、開催に要する経費の一部を補助し、県外からの誘客を促進する。

<事業の概要>

支給対象	学会、大会、会議 ※展示会、スポーツ大会、コンクール、イベント、コンサートは対象外
支給条件	人数 県外参加者100人以上
	規模 北陸地域(石川県、富山県及び福井県)を超える規模のもの
	会期 連続する2日以上であること ※会期にはコンベンション主催者が計画し、県内において実施する視察旅行を含む
	その他 以下に該当するコンベンションは、補助対象外。 ①宗教活動、政治活動を目的とするもの。 ②営利を目的とするもの。 ③公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれのあるもの。 ④国又は地方公共団体が主催、或いは運営に關与するもの。 ⑤国又は地方公共団体が補助金等の交付を受けるもの。ただし、県内の自治体がこの要綱と同様の趣旨で交付する補助金を除く。 ⑥開催順序が予め定められている持ち回りのもの。 ⑦本県で連続開催されるもの。 ⑧その他補助金の交付が適当でないと認められるもの。
国際コンベンション要件	以下の3つの要件をすべて満たすこと。 ・外国人が20名以上参加すること ・参加者募集を日本国外に対しても行っていること ・開催地が複数国間で交代するものであること。或いは臨時的に1度きりの開催であること。
補助金額	①基本補助(下記別表参照) ②バス補助: バス借上げ費用の1/3(上限100万円) ※県外参加者1,000人以上のコンベンションが対象。 ③加賀能登宿泊追加補助: 1,000円/人(上限50万円) ※金沢市を主会場とする県外参加者1,000人以上のコンベンションで、加賀・能登エリアに宿泊する場合。 ただし加賀・能登宿泊のためのバス助成を受ける場合は適用不可。

県外参加人数(人)			国内			国際		
100 ~	199	8	100	2,100 ~	2,199	168		
200 ~	299	16	140	2,200 ~	2,299	176		
300 ~	399	24	180	2,300 ~	2,399	184		
400 ~	499	32	220	2,400 ~	2,499	192		
500 ~	599	40	260	2,500 ~	2,599	200		
600 ~	699	48	300	2,600 ~	2,699	208		
700 ~	799	56	340	2,700 ~	2,799	216		
800 ~	899	64	380	2,800 ~	2,899	224		
900 ~	999	72	420	2,900 ~	2,999	232		
1,000 ~	1,099	80	460	3,000 ~	3,099	240		
1,100 ~	1,199	88	500	3,100 ~	3,199	248		
1,200 ~	1,299	96	540	3,200 ~	3,299	256		
1,300 ~	1,399	104	580	3,300 ~	3,399	264		
1,400 ~	1,499	112	620	3,400 ~	3,499	272		
1,500 ~	1,599	120	660	3,500 ~	3,599	280		
1,600 ~	1,699	128	700	3,600 ~	3,699	288		
1,700 ~	1,799	136	(上限)	3,700 ~	3,799	296		
1,800 ~	1,899	144		3,800 ~	3,899	304		
1,900 ~	1,999	152		3,900 ~	3,999	312		
2,000 ~	2,099	160		4,000 ~	4,099	320		

(単位: 万円)

県外参加人数(人)			国内			国際		
4,100 ~	4,199	328						
4,200 ~	4,299	336						
4,300 ~	4,399	344						
4,400 ~	4,499	352						
4,500 ~	4,599	360						
4,600 ~	4,699	368						
4,700 ~	4,799	376						
4,800 ~	4,899	384						
4,900 ~	4,999	392						
5,000 ~		400						

(上限)

※収支が一致する額が交付上限

施策・課題の状況							
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大					評価	
課題	新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大						
	指標	観光入り込み客数				単位	千人
	目標値	現状値					
	令和7年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	30,000	24,588	24,753	24,915	24,899		

事業費						
(単位: 千円)		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費	予算		45,644	48,415	56,000	50,000
	決算		44,833	48,255	38,836	
一般財源	予算		45,644	48,415	56,000	50,000
	決算		44,833	48,255	38,836	
事業費累計		0	44,833	93,088	131,924	181,924

評価	
項目	評価
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	左記の評価の理由
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 教育旅行誘致推進事業費	事業開始年度 H15	事業終了予定年度	作 組 織 誘客戦略課
	根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016	成 職・氏名 専門員 松林 憲吾 者 電話番号 076 - 225 - 1537 内線 3944

<事業の背景及び目的>
北陸新幹線開業を契機に全国的な注目度が高まっている中、将来の石川ファン拡大に繋がる取り組みとして、教育旅行誘致を重点事業の一つに位置付け、戦略的な誘致活動の展開を図る。

- <事業の概要>
- (1) 誘致活動
- ① 三大都市圏の学校、旅行会社の訪問
 - ② 現地視察会の開催
 - ③ 教育旅行誘致資料の作成(ダイジェスト版の作成)
 - ④ 北陸三県で連携した誘致活動の実施(首都圏での旅行会社向け説明会・商談会等)
 - ⑤ 関西圏での旅行会社向け説明会・商談会の実施
- (2) 修学旅行誘致戦略マネージャーの配置
北陸新幹線を利用する修学旅行の誘致強化に向け、修学旅行に関する専門的な知識や経験を有し、旅行会社や学校等との人的ネットワークを持つ旅行会社OBを東日本誘客推進室に配置
- (3) 受入体制の強化
- ① 宿泊施設向け受入研修会の開催
 - ② 首都圏大手旅行会社教育旅行担当者による現地視察会の実施
 - ③ 新たな教育旅行向けプログラムの開発(意見交換会の実施等)

施策・課題の状況							
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大					評価	
課題	新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大						
	指標	観光入り込み客数				単位	千人
	目標値	現状値					
	令和7年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	30,000	24,588	24,753	24,915	24,899		
事業費							
	(単位:千円)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
事業費	予算	2,000	4,000	7,000	6,000	6,000	
	決算	2,000	4,000	7,000	5,460		
一般	予算	2,000	2,000	3,500	3,000	3,000	
	決算	2,000	2,000	3,500	2,730		
財源	決算	2,000	2,000	3,500	2,730		
事業費累計		15,800	19,800	26,800	32,260	38,260	
評価							
項目	評価	左記の評価の理由					
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)							
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)							

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 西日本誘客推進事業費	事業開始年度 H26	事業終了予定年度	作 組 織 誘客戦略課
	根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016	成 職・氏名 主任主事 北本 聡 者 電話番号 076 - 225 - 1544 内線 3950

<事業の背景及び目的>
 北陸新幹線開業により、全国的な注目を受けたことで、関西・中京圏からの入込客数は開業前を上回って推移しているものの、令和5年春の県内全線開業を見据え、誘客拡大を図る必要がある。
 そのため、JRと北陸三県等が連携した通年でのキャンペーンに加え、JRと連携した県内全線開業を見据えた誘客プロモーションを展開するほか、大手私鉄グループ等と連携した誘客プロモーションの推進、マイカー利用者や団体旅行などのターゲットに応じた誘客の推進に取り組む。

- <事業の概要>
- (1) 北陸新幹線金沢開業5周年誘客プロモーションの展開
 - JR主要駅における波状的な誘客プロモーション
 実施時期: 令和2年秋
 - ・主要駅(大阪・天王寺・京橋・三ノ宮(神戸))における観光PRキャラバンの実施
 - ・石川の魅力を伝える観光PRイベントの開催
 大阪駅での特産品の販売、出張石川観光デスクの設置など
 - ・JR西日本グループ旅行会社(日本旅行)店舗での販促キャンペーンの実施
 - (2) 大手私鉄グループ等と連携した誘客プロモーションの推進
 - ・大手私鉄グループ等との連携による個人誘客(阪急阪神・名鉄・京阪・近鉄等)
 鉄道広告(駅、車内)、旅行商品造成、主要店舗における観光PRなど
 - (3) ターゲットに応じた誘客の推進
 - マイカー利用者の誘客の推進
 - ・NEXCOやJAF、大手自動車販売会社と連携した誘客・情報発信
 - ・東海北陸道沿線連携による情報発信(NEXCO、岐阜県、富山県)
 - 団体旅行の誘致強化
 - ・団体旅行セールスマン招へい、団体旅行商品造成の支援、周年企業の誘致
 - ・農協、信用金庫等大型団体の誘致
 - (4) イベントを活用した情報発信
 - ・百貨店等における観光物産展「いしかわ百万石物語展」の開催
 - ・石川香川観光パートナーシップ協定に基づく合同PRイベント(大阪駅)の実施

施策・課題の状況						
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大				評価	
課題	石川ならではの魅力の発信					
指標	3大都市圏からの入り込み客数				単位	千人
目標値	現状値					
令和7年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
13,000	9,011	8,877	8,919	8,793		

事業費					
(単位:千円)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費	10,500	21,000	20,500	28,700	21,800
一般	0	10,500	10,250	14,350	10,900
財源	0	10,500	10,250	14,342	
事業費累計	21,146	42,146	62,646	91,329	113,129

評価	
項目	評価 左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 いしかわ観光コンシェルジュ配置支援事業費	事業開始年度 R1	事業終了予定年度	作 組 織 誘客戦略課
	根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016	成 職・氏名 専門員 竹中 康将 者 電話番号 076 - 225 - 1537 内線 3944

<事業の背景及び目的>
 北陸新幹線金沢開業を機に高まった本県への旅行ニーズに対応するため、大手旅行会社と連携し、首都圏・関西圏の主要店舗の窓口に、本県への旅の魅力を紹介する担当者を「いしかわ観光コンシェルジュ」として配置し、店舗における本県観光情報の恒常的な発信強化と本県への誘客拡大に取り組む。

- <事業の概要>
- (1) 事業内容
- ・本県観光の積極的な情報発信と、旅行商品販売等による積極的な送客
 - ・石川デスク(観光情報コーナー)の設置による通年PR及び、定期的な店頭PRイベントの実施
 - ・コンシェルジュを対象とした本県視察研修の実施
 - ・コンシェルジュによる社内研修の開催(他の販売員への水平展開)
 - ・定期的な実績報告と、トレンドを踏まえた本県施策への提言
- (2) 実施店舗
- ・首都10店舗(R1年度7店舗)、関西圏6店舗(R1年度4店舗)、中京圏3店舗(R2年度新設)、東北圏1店舗(R2年度新設) 計20店舗(R1年度11店舗)
- (3) 配置人数
- ・各店舗1人 計20人

<これまでの見直し状況>

- ・実施店舗について、R1年度(事業開始年度)の11店舗から、R2年度には20店舗に倍増

施策・課題の状況						
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大				評価	
課題	石川ならではの魅力の発信					
指標	3大都市圏からの入り込み客数				単位	千人
目標値	現状値					
令和7年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
13,000	9,011	8,877	8,919	8,793		

事業費					
(単位:千円)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費	予算			6,000	11,000
	決算			5,993	
一般財源	予算			3,000	5,500
	決算			2,997	
事業費累計	0	0	0	5,993	16,993

評価	
項目	評価
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	左記の評価の理由
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 誘客プロモーション事業費	事業開始年度	H29	事業終了予定年度	
	根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016		

作成者	組織	誘客戦略課			
	職・氏名	主事 越村 日咲			
	電話番号	076 - 225 - 1537 内線 3943			

<事業の背景及び目的>
 石川県観光PRマスコットキャラクター「ひやくまんさん」を活用し、三大都市圏等の重点エリアにおいて積極的にプロモーション活動を行い、本県への誘客を図る。

- <事業の概要>
- (1) 観光PRイベント等への出演
 - ・県内外のイベント等に出演してプロモーション活動を実施
 - (2) ホームページを活用した情報発信
 - ・「ひやくまんさん」公式ホームページの維持管理
 - (3) ノベルティグッズによるPR
 - ・「ひやくまんさん」のノベルティを作成し、県内外での観光PRに活用
 - (4) 維持管理
 - ・「ひやくまんさん」の修繕等

施策・課題の状況

施策	<small>県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていたがよう石川ファンを拡大</small>	評価
課題	石川ならではの魅力の発信	
指標	観光入り込み客数	単位 千人
目標値	現状値	
令和7年度	平成28年度	平成29年度
30,000	24,588	24,753
	平成30年度	令和元年度
	24,915	24,899

事業費					
(単位:千円)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費 予算		15,000	15,000	15,000	15,000
事業費 決算		15,000	15,000	15,000	
一般 予算		15,000	15,000	15,000	15,000
財源 決算		15,000	15,000	15,000	
事業費累計	0	15,000	30,000	45,000	60,000

評価

項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 <small>(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)</small>		
今後の方向性 <small>(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)</small>		

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	JR連携誘客キャンペーン事業費	事業開始年度	H29	事業終了予定年度	
		根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016		

作成者	組織	誘客戦略課			
	職・氏名	専門員 佐々木 英雄			
	電話番号	076 - 225 - 1671 内線 3945			

<事業の背景及び目的>
北陸新幹線の開業効果の持続・発展を図っていくため、JRと北陸三県等が連携し、年間を通じたキャンペーンを継続的に実施し、観光誘客の促進を図る。

- <事業の概要>
- (1) キャンペーン全体スケジュール
 令和2年 4月～令和2年11月 「日本の美は、北陸にあり。」キャンペーン
 令和2年12月～令和3年3月 ジャパニーズビューティ北陸キャンペーン
- (2) 事業内容
- ① 情報発信の強化
 - ・イベントにおける出向宣伝
 - ・季節毎のポスターやガイドブック等によるPR
 - ・北陸3県イラストマップの作成
 - ② 旅行会社施策の強化
 - ・大手旅行会社のプロジェクトチームによる商品開発
 - ・旅行会社店頭説明用の観光素材資料集の作成
 - ・旅行会社店頭社員現地研修の実施
 - ・旅行会社店頭販促キャンペーンの実施

施策・課題の状況						
施策	国民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大				評価	
課題	広域連携による県域を越えた周遊観光の促進					
	指標	観光入り込み客数			単位	千人
	目標値	現状値				
	令和7年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	30,000	24,588	24,753	24,915	24,899	

事業費						
(単位:千円)		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費	予算		11,500	11,500	11,500	11,500
	決算		11,500	11,500	11,500	
一般	予算		5,750	5,750	5,750	5,750
	決算		5,750	5,750	5,750	
事業費累計		0	11,500	23,000	34,500	46,000

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)		
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)		